

農林水産分野における太陽光エネルギー利用推進事業（新規）

【未来を切り拓く6次産業創出事業のうち資源・環境対策

6,777(0)百万円】

対策のポイント

農林水産分野の省エネ・省コスト化の推進と地球温暖化防止を実現するため、農林水産業関連施設等への太陽光パネルの設置を支援します。

<背景／課題>

- ・農山漁村には太陽光やバイオマス等の自然エネルギーが豊富に存在するなど、食料供給のみならず資源供給の面でも大きな潜在力を有する。
- ・これらの潜在力を有効に活用し、省エネ・省コスト化と地球温暖化防止を実現するため、他分野においても導入が進められつつある太陽光エネルギーの利用を農林水産分野においても積極的に推進する必要。
- ・例えば、50頭規模の酪農経営であれば畜舎の屋根に太陽光パネルを設置することにより、年間の消費電力を賄うことが可能。

政策目標

農山漁村における太陽光エネルギーの年間利用量を約2000万kWh
拡大

<主な内容>

農山漁村の太陽光エネルギーを活用し、省エネ・省コスト化と地球温暖化防止を実現するため、農作物の保冷倉庫や畜舎、バイオマス変換施設など、農林水産業に関連する施設等への太陽光パネルの設置を支援します。

<事業実施主体> 民間団体

<補助率> 1/2、1/3以内

<事業実施期間> 平成22年度～平成23年度

[お問い合わせ先：大臣官房環境バイオマス政策課（03-3502-8458（直））]

農山漁村に豊富に存在し、現在、利用されていない太陽光等の自然エネルギーを効果的に活用する社会システムの構築を推進するため、社会資本整備やインセンティブの拡大が必要。

◆ 農林水産業への太陽光発電システムの導入を支援

建物の屋根等を活用！



カントリーエレベーター



集落排水施設

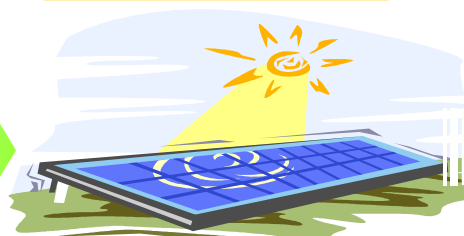


畜舎



保冷倉庫

国が施設整備を支援！



太陽光発電システムを設置

50kWの太陽光パネル設置
↓
一般家庭9戸の年間消費電力発電
(原油11klに相当)

- 低炭素社会実現により、温室効果ガス'90年比25%削減目標の達成に貢献
- 農山漁村でのエネルギー自給度の向上による農林水産物の生産・流通の安定化